

昭和新聞

毎月五、五二日發行
 定價(一)部十錢
 廣告欄一行五十錢
 場所指定 廿錢増
 平町城山
 發行所 吉田直吉
 印刷所 吉田直吉
 南町五九
 昭和新聞社

磐城樂石會生る

好間川地方産

水石奇石全國に名聲を博す

舊臘平町マルトモホールにて世界の何處を探しても於て主催磐城樂石會は磐城日本民族の如き特殊なる感國好間川産出の水石奇石の情を石に對して懐いてゐる陳列會を開催した當時後援民族はないようである既に者として斯界の大家雅石園我國創世時代より神聖化師外數名の權威者が來平鑑されてゐるものにて、尙定するに既に先進地たる採石を一つの藝術鑑賞品として取までも禁止されざる加茂て愛する様になつたのは恐川、揖斐川、阿部川、石狩は鎌倉時代で我國最古川より産する全國に知らるるの造園書として永遠の生命名石を凌駕するの折紙をつもつてゐる、(作庭記)をけられたるにより地方同好見るに海に驚嘆するばかり者は一層勇躍之が採取蒐集の石を用えて立派な數々意に努力し今や全國的に美術匠が傳へられてゐる足利時品としての眞價を認めらる代には金閣寺、銀閣寺建設、に至り相當高價なものと際しても名石を以て造園して藝術鑑賞品としては勿し今に至り國寶とされてゐ論商品化されつゝある去る、文豪頼山陽先生は名臥一月十七日磐城樂石會は水眉と稱する名石を愛賞し之石奇石を鑑賞するもの、何んを机上に裝飾した實例あるたるやの鑑賞観を高め、日と聞く尙高價に商品化されつ後進者の指導の意味に於たるものにては岩崎家の懇て同好者同志が名石を持ち、望により某氏所藏の名石を寄り炭屋旅館に於て座談會 岩崎家に譲り渡したと云ふを開催した。そも、日本 向東京三越陳列場に於て去民族は自然觀と宗教觀が、屋敷石一萬圓にて賣買にな

りたる事は既に新聞紙上に報導されたるが如き豪勢振りには實に一驚せざるを得ないのである、且つ趣味中に於ても古來より日本精神たる權化とも云ふべき堅實にして然も風韻掬すべき意味あるものである、此の意に於て結成されたる磐城樂石會の幹部並に愛藏者左の通り

- | | | | |
|-----|-------|---|-----------|
| 會長 | 坂本隆藏 | 全 | 牛久 |
| 副會長 | 諸橋元三郎 | 全 | 松井深 |
| 顧問 | 馬目文七 | 全 | 若松徳三郎 |
| 幹事 | 草野央 | 全 | 江尻洋服店江尻康平 |
| | | 全 | 井坂千代松 |
| | | 全 | 高根澤政克 |
| | | 全 | 高根澤秀雄 |
| | | 全 | 梅原利三郎 |
| | | 全 | 水野龍助 |
| | | 全 | 高野萬二郎 |
| | | 全 | 小河原義雄 |
| | | 全 | 水竹泰助 |
| | | 全 | 諸橋敬一郎 |
| | | 全 | 牛久洋服店 |

前途洋々たる

福島貯蓄銀行平支店

平町三丁目

縣が大株主として株の大牛店長安齊護氏の手腕力量とを所有し縣内一行主義の堅相俟つて地方金融機關として實で誇る福島貯蓄銀行平支店益々異彩を放つて居る特店は從來平驛通りして營業長資本利子税、所得税は無の處、舊臘平町三丁目目貫稅集金の勧誘が出来る等前通りに堂々たる最新式鐵筋途洋々たるものである。

久濱町政刷新町民大會

舊正月早々開催か
 町稅戶數割審議問題重大化せん
 久濱當局に於て一月卅日納稅義務觀念並及宣傳を徹底稅滞納の整理をなし一方行しをる矢先差押物件公賣

平町南町
 齒科一般
織田齒科醫院
 電話四一六番

シモヤケも
 デキ物も
 ヒビアカギレも
 水虫でも
 ヤケドでも
 しみも痛も。せすに早く治る
ひふ病専門藥
 ヘボン膏 一罐 廿錢
 マルマン
 九八四話電

高級割烹
末廣
 平町電話四二二
 是非御試食を
 牛肉料理
石川亭
 平町田町
 電話四三番
祝發
 平町會議員
 平行政區長
 內防組頭
 久濱漁業組合理事
吉田寅之輔
新妻唯祐
佐藤三平
高木好之助

大横山彰介商店

平町三丁目
 電話九四番六番

キ
關彰商店平支店
 平町一丁目
 舊二日年一回御祝初賣出し景品進呈
 婦人子供服製造販賣

ウシク子供洋服店
 平町二丁目 電話三八七番

に繞り久之濱町末續部落化せんとしてゐる舊正月早民より競落買受者古物商某々町政刷新町民大會を開催氏に不正行為あるとかの非し新自治運動良き郷土再建難の聲高まりつゝある、尙を意氣込み愛町民の寄々協町民よりは久之濱町當局に議中であると
 於て昭和十一年度町稅戶數割審議委員の行為に疑惑の念が深ま、問題は實、重大

且元月正舊年二十和昭 

呈進品景と初賣日二月正舊りよに例恒 

<p>舊二日市景品付大賣出し</p> <p>市原商店</p> <p>平町一丁目 電話二四四番</p>	<p>二日市景品進呈</p> <p>味噌贈醸 醬油類販賣 和洋酒類販賣</p> <p>小原喜八</p> <p>會津屋 平町一丁目 電話四六二番</p>	<p>舊二日初賣景品山積進呈</p> <p>さくや洋品店</p> <p>平町四丁目平本局前</p>	<p>初賣景品進呈</p> <p>和洋銅鐵 度量衡</p> <p>坂田藤助</p> <p>平町二丁目 電話一二八番</p>	<p>景品進呈</p> <p>藥品一般 有名賣藥 處方調劑</p> <p>水野藥局</p> <p>平町一丁目 水野清一 電話六九九番</p>	<p>二日市景品附大賣出し</p> <p>教育問 玩具飾屋</p> <p>森下商店</p> <p>平町一丁目 電話九七番</p>	<p>年一回の御禮初賣出し</p> <p>景品山積大發賣</p> <p>江川屋足袋店</p> <p>江尻直次 平町三丁目</p>
--	---	---	---	--	--	--

<p>初賣景品進呈</p> <p>安い確かな品</p> <p>フチヤ洋品店</p> <p>平町四丁目</p>	<p>二日市景品附大賣出し</p> <p>十せや</p> <p>平町一丁目</p>	<p>二日市景品附大賣出し</p> <p>陶器卸商</p> <p>入江商店</p> <p>平町五丁目 電話二八五番</p>	<p>初賣景品進呈</p> <p>豚肉</p> <p>三三三屋</p> <p>平町三丁目 電話三三三番</p>
--	---	---	---

<p>舊二日市景品附大賣出し</p> <p>イワキヤ洋品店</p> <p>平町才樋小路通り</p>	<p>年一回の御禮初賣出し</p> <p>景品山積進呈</p> <p>銘正元賣發</p> <p>丸伊酒店</p> <p>篠原新吾 平町四丁目 電話四八七番</p>	<p>初賣景品進呈</p> <p>釜屋商店</p> <p>平町 電話九番 九九番</p>	<p>舊二日初賣景品進呈</p> <p>内外屋問</p> <p>藤居商店</p> <p>平町三丁目 電話五四三番</p>	<p>暴騰の中に 古着の値上りなし</p> <p>旭屋衣裳店</p> <p>平町三丁目</p>	<p>二日市景品附大賣出し</p> <p>太丸屋號</p> <p>大津賀善吉</p> <p>平町三丁目 電話二十二番</p>
---	---	--	--	---	--

<p>景品具家 漆と器</p> <p>丸ほん商店</p> <p>平町三丁目 電話三五九番</p>	<p>景品進呈</p> <p>坂本紙店</p> <p>平町一丁目 電話一八番</p>	<p>二日市景品附大賣出し</p> <p>大室屋本家</p> <p>松崎長太郎</p> <p>平町新川町 電話一〇五番</p>	<p>二日市景品附大賣出し</p> <p>荒物陶器 卸小賣</p> <p>松崎長三郎</p> <p>平町新川町 電話一七二番</p>	<p>平新川町</p> <p>北川外科</p> <p>電話四六四番</p>
--	--	---	--	---------------------------------------

<p>一年一回の御禮初賣出し</p> <p>景品山積</p> <p>良品安賣の親玉</p> <p>山家メヤリ店</p> <p>平町二丁目 電話六〇五番</p>	<p>二日市大賣出し</p> <p>景品山積</p> <p>松屋吳服店</p> <p>福島縣平才樋小路</p>	<p>一年一回の御禮初賣出し</p> <p>景品山積大發賣</p> <p>武子商店</p> <p>平町五丁目 電話一六八番</p>
---	---	---